

を再來せしめるの希望を以て國王と百姓婦人とを結婚させようとするやうなナイヴさである。

三

若し吾々が、たゞ一瞬間、代表議會の選出の仕方や作用の方式に就て省察した、その議會の害惡は實

際吾々を驚かさないであらう。

私は茲に、さしも不快な、さしも深い嫌惡を催させる状態を描寫せねばならぬか？ 吾々は一切を

——選舉の實狀を——知らねばならないか？ ブルジョアの英國に於ても、デモクラチックな瑞西に於ても、北米合衆國に於ける如く佛蘭西に於ても、アルゼンチン共和國に於ける如く獨逸に於ても、到る處、かうした悲しむべき喜劇は同様ではないか？

選舉の運動者や委員等が、右にまた左に、集會に於ては政治的約束を、個々に對しては個人的約束を、振り撒きながら、如何に選舉を盜奪し行くかを談らねばならないか？ 必要の場合には『選舉人』の犬や猫までも愛撫し、母親や子供にも阿諛を呈して、如何に彼等がそれ等の家庭にまで入り込むか、を談らねばならないか？ 如何にして彼等は諸方のカフエー内にはびこり、選舉人等を變説せしめ、恰も詐欺師の共犯者等が人をカルタの勝負に引込むやうに、最も沈黙せる者の間に議論を闘はして如何にそれを把握するか？ 如何にして候補者は先づ自ら推薦されて置いて、それから其『親愛なる選舉人達』の中に、優しい笑顔、謙遜な眼付、猫なげ聲を以て現はれるか？——甘つたるい笑いと天使のやうな眼つきで間借人を捕虜にしようとするロンドンの室貸老毒婦と全然同じく。或は日和見主義綱領にせよ、或は革命的社會主義の綱領にせよ、候補者自身、苟も智能あり議會を知つてゐるならば、眞面目に信を置かすして、而も狂人か或は旅役者にふさはしい情熱と銅羅聲と感傷とを以て辯護するところの偽りの綱領——全然偽りの綱領——を列舉する必要があるか？ 民衆の喜劇が單なる詐欺師のロベール・マテ

エルとベルトラン（譯者曰、ル・メエトルによつて有名になつた傳説的三怪漢）タルチュフ（譯者曰、モリーエルの劇の一人物）や、或は銀行の掏摸などのものに限らず、盗むべき投票を探索する『人民の代表者達』の喜劇をも其秀逸せる要素中に加へるのは、決して無益なことではない。

最後に茲に選舉の費用を記する必要があるか？ 併し此點に就ては總ての新聞が充分に吾々に教へてくれる。それとも選舉運動者の經費表を採録しようか、その表中には、選舉權者等の『大切な子供等に』對して慈悲深い候補者から送られた羊の焼肉や、フランネルのチョッキや、鎮靜水藥やが列記される。それから又、『反對黨を狼狽させる爲の』焼林檎や腐卵の費用までも想ひ起す必要があるか？ それは北米合衆國に於ける選舉費用を重加するところのもので、既に吾々の歐洲の選舉に頗る名譽の役目を果たしたところの『最後の策戦』や讒誣の張紙の費用と同様なのだ。

そして政府が、その『地位』最も多くを捧げるものに提供する多くの『地位』を提けて、『唾』の名稱を有する反故を以て、煙草の賣店、賭博所や魔窟の保護の約束、厚顔な新聞紙、犬共、詐欺漢、裁判官刑事等を以て、干渉する時は……。

いや、もう充分だ！ こんな汚泥はそつとして置かう、かきたてないで置かう！ 吾々は單に次の疑問を呈するに止めよう。曰く、人間の慾情の最悪、最下等なもの一つでも、選舉に際して動かされなといふことがあるか？ 瞞着、讒誣、陋劣、偽善、虚偽等、人獸の奥底に宿るところの有りとしあらゆる汚泥——これぞ選舉時代に投ぜられた國が吾々に呈示する美しい光景なのだ。

自ら主人たる爲の選舉が行はれる限り、以上の通りだ。そして、これ以外ではあり得ないのだ。全然平等な勞働者だけが存在するとしても、何時か彼等が自ら支配者たらんことを念頭に想ひ初めるとしたらどうか——それは矢張り同じことであらう。焼肉は配布されないのであらうが、甘言や虚言が頒布されるであらう——そして焼林檎は残るであらう。最も神聖な自分の權利を競賣に付して抑も何を最も好く收穫しようとするのか？

選舉人に對して實際何んなことが要求されるか？ それは凡そ彼等有する最も神聖なもの、即ち、彼等の權利、彼等の子供達、彼等の勞働等、一切に關して立法する權利を信託し得る一人物を發見することだ！ 然るに、かうした王權を爭ふ爲に二三千人のロベエル・マケエルが現はれるといふことは驚かれるだらう。自分には如何にも善いと思はれる子供等を十九歳か二十一歳で失ふ權利（同様な抽籤の結果、幾人かの仲間とともに）兵營の腐敗する空氣の中に、その子供等を三年間も、宜いと思へば（被選者が）十年間も、閉ぢ込める權利、一旦開始すれば其國は止めることの出来ない××を開始して、欲するまゝに子供等をして殺戮を行はせる權利、を信託し得る一人物を求めるのだ。その被選者は、思ふ儘に諸大學を閉鎖し或は開校し、親達を強制してその子供等を入學させ或はその入學を拒絶することが出来るであらう。新らしいルイ十四世は自分が欲するなら或る産業を助長し又は亡ぼすことができ、南方の爲に北方を犠牲にすることが出来るであらう。或る地方を併呑し又は割讓することが出来るであら

う。彼は勞働者の食物から奪取するところの殆ど三十億の金を毎年消費するであらう。彼は尙ほ、執行の權力者、換言すれば、議會と一致する限り、往時の王家とは異つて專制的で暴戾であり得るところの權力者を任命する大權を保持するであらう。何故ならば、ルイ十六世は假りに約一萬の官吏にしか命令しなかつたとして、彼は十萬の官吏に司令するであらう。そして國王は國庫から貧弱な職箱かの金貨を望み得たとして、今日の立憲的大臣は取引所の唯一相場で、『正直に』幾百萬をポケットに入れる。

此やうな權能を授けうべき一人の支配者が求められる時に、總ゆる慾情が活動するのを見ては驚かれるであらう！ 西班牙がその空位の王座を競賣に出した時、山賊どもが各地から馳せ參じたのを見て人は驚いたか？ かうした大權の賣出が存在する限りは、何も改善されることは出来ぬであらう。選舉は即ち虛榮心と良心との大市場として存するであらう。

*

且、多く或は少く代議士等の權能を削減するであらう時も、各自治體を小規模の國家となしてその權能を分割する時も——總ては其儘に存續するであらう。

共同の事務に關し、その仕事の爲に毎日會合するところの、相互に底の底まで知り合つてゐるところの、そして一決定にまで到達するところの百人乃至二百人が誰か一人を選出し、それを特殊な事務に就て他の同種の代表者と會談すべく派遣する場合も、尙ほ委任といふことが認められる。その場合の選擇は事件の充分なる認識に於て行はれ、各人がその代表者に信託し得べきことを知つてゐる。且その代表

者は、その委託者がある結論に到達した諸の考慮を他の代表者等の前に披露するに過ぎないであらう。何事をも強要し得ないので、彼は協調點を探求するであらう。そして彼は代理人等が應諾するか或は拒否し得るだけの單純な提議を以て再會するであらう。代表といふものが生れたのは實にかうしてゐた。即ち自治體が他の自治體にその代表者等を送つた時には、彼等はそれ以外の委任を持たなかつた。今日諸國の郵便事務員や、鐵道會社の代表者や、國際會議に於ける統計學者や氣象學者等が行ふところも尙ほ同様なのだ。

併し今は、どんなことが選舉人に求められるか？ 互に些かも識り合はず、曾て面識もなく、曾て如何なる共通事務に就ても會合したこともない一萬乃至二萬の人間（連記投票の場合には十萬人に）に一人の人間を選擇するに就て一致せんことを要求するのだ。それから又その人は、明確な事件を闡明する爲め。或は特殊な一事件に關する決定を辯護する爲に送られるのではなからう、否、彼は總てを成すことが好いのだ、どんな事に就ても規則を立てる方が善いのだ。そして其決定は法律になるであらう。代表の原始的性質は全然改作されて了ひ、不條理なものになつた。

かうして今日求められる全智全能の人物なぞは存在しない。併しながら、誠實と常識と一定の條件と多少の教養とを具備する正直な市民はある。ではその人が選ばれるであらうか？ 勿論否。その人の卓越せる性質を知るものは同一團體に屬する二十名足らずであらう。さうした人間は決して自ら廣告などはしない。彼は自分の名前を繞つて囃したてる慣用手段を卑しむ。彼は決して二百票以上は集められま

い。第一こんな人間は候補者にはされまい。そして辯護士とか新聞記者とか、指名されるであらう。さうした辯舌屋や三文記者は法廷や新聞の風習を議會に移し、與黨又は野黨の投票家蓄に加勢をするであらう。次に候補者に立つものは、代議士といふ肩書を獲得することを義望し、さうした名聲を得る爲には一萬法を費すとも辭さないところの商人であらう。かくて、北米合衆國のやうな極めてデモクラチックな風習のある處、その委員會が容易に財産上の勢力を構成し又均衡する處では、最惡のものが指名されるであらう。即ち今日此大共和國の災害となつた下劣な存在たる職業的政治家、政治を以て産業を行ひ大産業の手段——廣告、宣傳、買収——に従て政治を實行する職業的政治家が指名されるであらう。

諸君の欲する如く選舉制度を改めよ。區制投票に代ふるに連記投票制を以てせよ。瑞西に於ける如く二段選舉法を設けよ。能ふだけ多く修正せよ。其制度を、よりよき平等状態に適用せよ——選舉團體を組立て又組み直せ——而も此制度に固有する害惡は存続するであらう。投票の過半数を集め得るであらう人は、(迫害される黨派に於ける非常に稀れな例外は別として)いつでも詰らない、自信のない人間——總ての人々を満足させ得る人間——であらう。

スベンサアが既に着眼したやうに、議會が一般に甚だ惡組織になつてゐるのは之が爲である。スベンサアは、その著『社會學總論』(introduction)中に曰く、議會は常に其國の中庸程度よりも劣つてゐる、單にその良心に於てのみならず、その智能に於ても、と。才能ある國はその代表内に縮こまる。愚物によつて代表されることを呪ふであらうが、それ以上の選擇をすることは出来ぬであらう。若し夫れ代議

士の誠實に至つては、それが、どれほどのものであるか、吾々は知つてゐる。それを能く知りて吟味したところの前大臣達の言ふところを読めば分る。

選舉人等をして開會中の『議會』を見せしめる爲の特別列車のないのは何と殘念なことであらう。彼等はそれを直ぐに厭になるだらうに。昔の人は自分の子供達に泥酔の嫌惡すべきことを教へる爲に其奴隸等をして牛飲馬食せしめた。されば巴里人達よ、代議政治といふものを嫌惡する爲に、議會に行つて諸君の代表者等を見よ。

*

かうした人間の屑の集團に對して、人民はその總ての權利を放任する。そして唯だ時々それを被免して他を選任するの權利だけを保留する。けれども同一方法を以て選舉され同一使命を負はされた新議會は、前のものと同様に劣惡であらう故に、大衆は遂にその道化芝居に無關心になり、自ら乗り出すに至つた若干の新候補者を受容れて僅かに塗り替をするだけに止まる。

併しながら若し選舉にして既に改善すべからざる構成上の害惡を受容してゐるならば、議會がその委任を實行する態度などに就て何を言はうか? 唯だ一瞬間反省して見よ、諸君は諸君が議會に要求する仕事の空虚であることを直ぐに看取するであらう。

諸君の代表者は、彼の廣大なる機構——集中國家——に起る無限に雑多な諸問題の總てに就て意見を生み投票を與へなければならぬであらう。

彼は畜犬に關する税制や大學教育の改良法に投票せねばならぬであらう。而も曾て大學に足を入れたことも無く、田舎の犬がどんなものであるかを知らないのだ。彼はグラ銃の利益に就て、また國家の種馬飼養の場所選擇に就て、發言せねばならぬ。彼はフロックスラ（葡萄酒）や、ゲノ（海鳥糞肥料）や煙草や、初等教育や、都市衛生やに就て、印度支那や、ギニヤンに就て、巴里の氣象臺や煙突管に就て、投票せねばならぬ。整列した兵隊しか見たことのないものが、軍隊を分配し、曾て一人のアラビヤ人をも見ないでアルジェリイのミュズルマン土地法を設定し修正するであらう。彼は妻君の趣味に従てシヤコカチビカ（何れも軍帽の一種）に投票するであらう。彼は甘薯を保護して小麥を犠牲にするであらう。彼は葡萄樹を保護すると信じつゝ、それを滅すであらう。彼は牧草地に反對して植林に投票し、また森林に反對して牧草地を保護するであらう。彼は銀行に就ては鐵轡をはめられるであらう。彼は鐵道の爲に或る運河を潰すであらうが、而も、それ等のものが佛蘭西の何れの部分にあるかを餘り知らないでゐる。彼は決して熟議することなしに、刑法に新條項を加へるであらう。議會の日程に従て、今日の軍人は明日の豚飼夫となり、銀行家となり、學士會員となり、下水掃除夫となり、醫者となり、天文学者となり、製藥業者となり、製革業者となり、商人となる全智全能の約變者たる彼は、決して躊躇することはない。辯護士や、新聞記者や、或は集會の辯士たる職業に於て、自分の知らないことでも何でも承べることに慣らされた彼は總ゆる問題に投票するであらう。その間に異なるところは、唯だ新聞社には行火にあつてゐる受付と戯れ、法廷では情眼を貪る判事や陪審官を自分の聲で醒ますに過ぎない

が、議會に於ては其意見が三四千萬住民に對する法律になるといふ點だけである。

彼の投票によつて法律が成立するであらう多數の問題に就て自分の意見を持つといふことは彼にとつて物質的に不可能である。故に彼は、大臣が次官の臨機に作製した數字多き説明書を読む間、その隣人と淫らな談話を交はしたり、飲食店で時間を潰したり、その『大切な選舉者達』に鼓吹の手紙を書いたりするであらう。そして決票の時になると、彼は自黨の首領の指示に従て、其の陳述に對する賛否何れかの發言をするであらう。

豚の食料の問題だとか、兵士の武裝の問題だとかも亦、政府黨と野黨との間には、議場に於ける論争の問題たるに過ぎないであらう。彼等は豚が食料を要するか、兵士が既に沙漠の駱駝のやうに荷物を持ち過ぎるとか、いふやうなことを考へはしなからう。彼等が關心を持つ唯一の問題は、それに賛成の投票が果して自分等の政黨を利するか否かを知るにあるであらう。議政上の戦は、與黨と野黨との利害に基いて、兵士や、農夫や、工場労働者やの背上に於て行はれる。

氣の毒なブルウドン、私は想像する、彼が子供らしき率直さを以て議會に入つて、其日程に上つた諸問題を一々徹底的に研究した時のその悲痛は如何ばかりであつたかを。彼は壇上に於て數字と思考とを述べたが——それは聽かれさへもしなかつた。諸々の問題は總て議場に現はれる前に決定される。そして其理由は極めて單純である、即ち『吾々の黨派に有益か將た有害か？』にある。票數は計へられる。服従者は登録され、不服者は注意深く數へられ探索される。演説は唯だ討議に提出する爲めにしか行は

れない。そしてそれは唯だ藝術的に價值があるか或は惡評に價するかといふことにしか注意されない。ナイヴな人は想像する、ルメスタンはその雄辯を以て議會を奪つたと。而もルメスタンは其討議の後に及んで、如何にしてその投票を奪ふ爲に提供した約束を履行すべきかを其友人等と打算する。その雄辯は、大言壯語を以て民望を回復する爲め、傍聴席を喜ばせる爲めに、作曲され誦誦された場當りの歌謡でしかなかつたのだ。

*

『決議を奪取する!』——だが然らば議會の兩黨の均衡を傾かしめるところの投票を奪取するものは誰だ? 内閣を顛覆し組織するものは誰か? その國に反動政治或は海外の冒險の政治を付與するものは誰か? 内閣派と反對派との何れかに決定するものは誰か?

——それは『沼の臺!』といふ極めて適當な名稱を付せられた者達。何の意見も持たない人達、常に兩座席の中間に座を占め、議會の主要な二大政黨の間に浮動する人達。

それは慥かに此集團だ——自由黨と保守黨との間に内股膏藥となり、約束や、地位や、阿諛や、恐慌によつて動かされるところの、何等の確信をも持たない無頓着な五十人ばかりの人間だ——その投票を與へ又は拒否する此少數な低能者の一團が邦家の總ての事務を決定するのだ。法律を造り又はそれを放棄し去るのは彼等である。内閣を支持し或は顛覆し、また政治の方針を變更するのは彼等である。——無頓着な五十人ばかりの者が國の法律を造る——これが代議制度の最初の分解の歸結である。議會の構

成法がどうあらうと、それが最大の花形役者と完全無缺の人物とを以て充たされるとも——その決定は沼の臺達に歸するであらう。多數が法律を造る限りは何の變化もあり得ない。

*

以上、代表議會の構成上の害惡を簡単に指示したから、吾々はこゝに、その議會の活動狀態を示さなくてはならぬ。吾々は示さなくてはならない、如何にして、コンバンションから一八七一年のコムミュン會議に至るまで、英國のバリアメントからセルビヤのスクプシチナに至るまで、總てが低能者に汚されてゐるかを。どうして彼等の良好な法律は先行法律の廢止——バックルの表現に従へば——の他になかつたかを。また、それ等の法律は、どうして人民の槍を以て、一揆の手段を以て奪取されねばならなかつたかを。それは一種の歴史をものすことになるであらうか、併しそれは吾々の雜誌の範圍を超過するであらう。〔註〕

〔註〕 讀者はハアバート・スペンサアの近著『國家對個人』中に、此問題を取扱つた『立法者等の罪惡』と稱する一章を發見するであらう。

そののみならず、苟も吾々の惡教育による偏見に迷はされずに推理することの出来るものは誰でも自ら今日の代議政治の歴史中に充分の實例を發見するであらう。そして、その代表團體が如何にあらうとも、即ちそれが勞働者またはブルジョアのどちらで構成されて、あつても、又門戸が廣く社會革命黨に開かれてあつても、代表議會の總ての害惡は保存されるであらう、といふことが分るであらう。

選舉議會に支配される勞働者國家を夢想することは、吾々の強權的教育が吾々に吹きこむところの最も不健全な夢想である。

リヤンツィや、アレキサンドル三世やに於てすら、善き王様を見いだし得ない如く、善き議會を得ることとも矢張り出来ない。社會主義の將來は全然他の方向にあるべきだ。即ち政治の方面に於ても、經濟の方面に於ける如く、人類に對して新らしい道を開くであらう。